



# ヴァルハラ＊ワルツ

## 【序章】霧の森の乙女

神々の一族以外は立ち入りを禁じられている。霧深い森の奥に、うつくしい湖がある。名をワルドの湖という。

そこは戦乙女(ワルクューレ)たち……別名「白鳥の乙女」たちの休息地であった。

人間の身ながら霧の森に侵入した王子とのお付きの道化師・アインは、戦乙女の長女・オーロラと邂逅を果たす。

そこへ、オーロラが守護する「黄金の腕輪」を狙い、魔王・サーガが世界の裂け目からその魔の手を伸ばす。

オーロラ、王子、アインは半死半生の目に遭い、腕輪は神域の川を下ってあらゆる時代へと消えていく。

レディ・オーに「黄金の腕輪」を取り戻す使命を与えられ、戦乱渦巻く地上への転生を余儀なくされるオーロラ。

その助けになりたいと願うアインは、レディ・オーに知恵を授けられ、オーロラの為に「黄金の腕輪」を奪取すべく輪廻転生の旅路へと身を投じる。

## 【第1章】最果ての王国

神域から零れ落ちた「黄金の腕輪」の力により、世界の東側の一角に「楽園」が生まれた。全ての季節の花が咲き、全ての果実が実る場所。

「楽園」を中心とし、魔術師たちは巨大な王国を立ち上げた。その名も春の国・エレフガルド。

花の魔術師である兄王・バルドルの世にて、雪と氷の国・イースガルドよりオーロラという姫が嫁いでくる。

「黄金の腕輪」がバルドルの妹であるフレイヤを主に選び、バルドルが非業の死を遂げ、玉座が空白になった時。

死の国の女神・ヘラーが地上に姿を現し、物語は幕を開ける。

## 【第2章】黄金の林檎

第1章の時代から五百年の後。「楽園」は、人間に「黄金の林檎」を育てさせる為の巨大な収容所と化していた。「黄金の林檎」は魔術師たちに限りなく不死に近い長寿を授け、その治世は退廃の一途を辿る。

一方で人間たちは、王侯貴族の魔術師たちに様々な文化を取り上げられ、限りある生を使役されて過ごす。

「楽園」の第九区画区長・ヴェロニカを追って、オーロラという名の少女が「楽園」に現れる。二人はリーリヤダリルという谷間の村の出身であり、嘗て戦争で引き裂かれた過去があった。

フレイヤの末裔であり、今や悪政の象徴であるエレフガルドの女王・ミーミルの進退を巡り、密かに革命を企てる人間たちは「黄金の腕輪」を求めて動き出す。

## 主宰挨拶

### 【ご挨拶】

「はてしない物語」「ナルニア国物語」「指輪物語」等等で育った私が、演劇で&女性主人公でそれをやってみよう！ついでに輪廻転生もしちゃおう！という発想から今作は生まれました。

「演劇」も「ファンタジー」も、人生の通過点のように思われがちで、「いつか失う為にあるもの」(だからこそいい!)という扱いを受けるのは本意だなど日々思います。そして「女性の人生」に対する扱いも、似通ったものがあります。現実社会に於ける「女性の人生」は、概ね全て「いつか誰かの家に入るまで」という結末ありきで語られる。それが創作物……物語の上であっても。何故、女性主人公で、女性同士の関係性にこだわるのかという問いへの答えはここにあります。社会は変わりつつあるけれど。何度でも、一生をかけて、生まれ変わっても、「主たるものとして描かれない」とされた登場人物たちが「主」として輝く物語を描き続けていたいと思います。

あらゆる西洋風ファンタジーの祖である北欧神話の自由で勇猛な神々たちに着想と力を得て、『ヴァルハラ・ワルツ』をここに開幕することが出来ました。運命が巡り巡って、あなたにこの物語をお見せすることが出来てとても嬉しいです。ポーツと観てもよし、登場人物の誰かを追いかけられるもよし、沢山考え事しながら観るもよし、皆様どうぞご自由に観劇下さい。人物/シーン/台詞/仕草/表情……どこか一瞬でも、あなたの人生に明かりを灯すことができれば幸いです。

ツカ★ガール 飯塚未生

## STAFF

脚本・演出：飯塚未生 / 舞台監督：ワタナベユウタ / 照明：赤本龍太 / 音響：Takashi Watanabe / 音楽：Kasumi hayano  
身体演出：演出補佐：妃咲歩美・三森みち / OP 振付：カシマダオリエ / 演出助手：奥田悟史 / 舞台美術：小野まりの  
キャラクタービジュアル・衣装・グッツ監修：羊石 / 衣装補佐：穂坂友美 / 歌唱指導：矢野愛果 / 歌唱録音・編集：芝伸介  
グッツ製作補佐：三葉彩夏 / 宣伝美術：Erina / スチール・舞台写真：奏小雪 / 撮影映像：U-3 / 当日運営・票券管理：佐伯凜果  
制作補佐：プライベート★ミュージズ / 企画・制作：ツカ★ガール  
協力：株式会社 Quick、ギロチンメソッド、劇団ミックスドックス、合同会社 flipper、サンミュージックプロダクション、三文姉妹、スカイアイ・プロデュース、びびすとれるる、放映新社、ミレニアムプロ、屋根裏の庭、有限会社えりオフィス、AyK、Creative Company Colors、Eja9、kourga、U-3、world of mouth

## 用語説明

### 【三種族について】

神：この物語世界をすべる上位存在。光や、闇や、死。風、海、林檎の樹など神々一人一人が自然の力を担い、神の言葉で自然と対話する。己の領分を越えて力を振るってはならないという鉄の掟がある。

魔術師：生まれながらに魔力を持った種族。神が使う言語を「魔法文字」として書き起こし、「呪文」として唱えることで自然の力を操る。その行為を魔法、魔術等と呼ぶ。「黄金の林檎」を食すことで数百年の寿命を得る。魔法を用いても、魔術師自身が「黄金の林檎」を意のままに実らせることは出来ない。

人間：姿形は魔術師と似通っているものの、魔力を持たず、非常に短命な種族。三種族の中の最下層に位置し、国によっては奴隷のよう使役される。魔術師が実権を握る地上で、彼らの支配域の隙間を縫うように生きており、人間同士の戦争が絶えない。魔術師の命の糧である「黄金の林檎」は人間にとっては猛毒。

### 【ヴァルハラ・ワルツ用語集】

黄金の腕輪：世界の秩序の鍵を握る腕輪。手にした者の欲望や憎悪を増幅する危険を秘めるとか……/別名「世界を描くペン先」

黄金の林檎：神々が地上の魔術師に齎した、延命長寿を授ける林檎。その花実が咲くか否かは、神の采配に委ねられている。

楽園：「黄金の腕輪」が地上に流れ着いた先、エレフガルドを中心に広がる花園。すべての季節の花実が咲く、奇跡の大地。

魔術：魔法、呪い(まじない)とも言う。神の言葉を真似て、自然に命令を下すことで意のままに操ることを言う。

魔法文字：魔術師が魔術を行う為、神の言葉を翻訳した文字。

エレフガルド：別名春の国。代々花の魔術師が統治する、魔術師の四大大国の一つ。世界の東側に位置し、「楽園」を管理する。

守り人：ミーミルが女王となった時代に、「楽園」に収容された人間たちの通称。戦争で故郷や身寄りをなくしたものが殆どだが……?

異域同舟(ゴエツドウシュウ)：仲の悪い者同士でも同じ災難や利害が一致すれば、協力したり助け合ったりとすたとえ。

## 登場人物

アイン役 《氷》木内海美 《炎》池ヶ谷明杜  
……グラム帝国の「王子」に仕える「奇跡」の道化師。オーロラと共に「黄金の腕輪」を巡る輪廻の旅に出る。  
【第1章】アインの転生先の一つ目の魂。輪廻の旅人。  
【第2章】アインの転生先の幾つ目の魂。「楽園」に現れた逃亡兵。

オーロラ役 《氷・炎》妃咲歩美  
……戦乙女の長女。霧の森にすみ「黄金の腕輪」を守護する。凍れる瞳の裏に炎を宿す白鳥の乙女。  
【第1章】オーロラの転生先の一つ目の魂。イースガルドの姫。  
【第2章】オーロラの転生先の幾つ目の魂。「楽園」の守り人。

ロキ役 《氷》青海アキ 《炎》米栞梨紗  
……サーガに力を与えられた魔人。闇の人形遣い。オーロラを欲し、破滅滅茶な言動で物語を攪乱する。  
【序章】グラム帝国の「王子」。女性として生まれたが、「王子」として生きざるを得なかった。戦乙女・オーロラに逢いに霧の森に迷い込む。

レディ・オー役 《氷》かまくらあや 《炎》渡邊ひかる  
……宇宙に在る全ての事象を「知りたい」という欲望を抱く愉快で豪胆なレディ。

サーガ役 《氷》高木碧 《炎》小林未往  
……間を司る神だったが、魔族に墮ちる。黄金の腕輪を手にして、世界を我が物にしようと企む。

ヴァルブルギス役 《氷》星乃彩日 《炎》ハラグチリサ  
……燃える瞳の裏に凍てつく闇を宿す。黒鳥の乙女。サーガがオーロラに似せた魔人。

ワルズ役 《氷》KYaNA 《炎》月代彩佳  
……「過去」を司る運命の女神の長女であり、戦乙女ワルクューレの姉妹

フレイヤ役 《氷・炎》石黒乃莉子  
……花の国・エレフガルドの先王バルドルの妻。力ある花の魔術師。不老の果実「黄金の林檎」の研究に励む。

ルネ役 《氷》田口真美 《炎》琴音  
……雪と氷の国・イースガルドのオーロラ姫に仕える人間の少女。オーロラを崇拝している。

ヘラー役 《氷》最上みゆう 《炎》中原舜実  
……地下深く死の国を治める女神。国土には饑饉の歌が流れる。サーガの超常行為に手を焼く。

ヨルムンガンド役 《氷》下園あいり 《炎》山内里紗  
……ヘラーの眷属の大蛇。好きな食べ物は林檎。その実体は世界をぐるりと回るほど巨大。

ヴェロニカ役 《氷・炎》結崎あゆ花  
……「黄金の林檎」を育てる守り人。有能な「楽園」地区長。オーロラの教育係。昔銃撃手として戦場にいたとか。

ユディト役 《氷》鈴原早織 《炎》椎名しおり  
……「黄金の林檎」を育てる守り人。「楽園」の警護隊。天性の遊び人で人たらし。

ミーミル役 《氷》谷尻まりあ 《炎》小倉萌  
……フレイヤの末裔でエレフガルドの女王。国政に抱望し、林檎のお茶会を興す賢三昧に暮らす。

イズン・イズーナ役 《氷》桐谷葉月 《炎》わたなべさう  
……エレフガルドの王族に仕える奇妙な魔術師……? 「黄金の林檎」の花の使者。

(ダンサー)

ベルダンディ役 《氷》高橋みなみ 《炎》奥山雅子 《炎》  
……「現在」を司る運命の女神の次女であり、戦乙女ワルクューレの姉妹